

各分団旗が勢ぞろい

平成 23 年長島町消防出初式



◆鹿兒島県消防協会総裁表彰伝達
功績章 (20 年) 町田 和光
塩見 昇
精績章 (15 年) 久保 修三
荒川 昭徳 圭利
尾野 清和 元光
荒木 広国 利光
浜田 洋一 雄一郎

岩内 哲司 中飯屋 孝輝
湯元 元幸 飯尾 輝臣
長元 英安 鶴長 孝司
島越 伸 大堂 健
◆鹿兒島県知事表彰伝達
勤続賞 (10 年) 小川 清和
町口 博一

◆消防協会出水支部表彰
優良団員 (10 年) 阿多 和徳
久利 俊彦 池田 協豊
岡和 俊春 宮脇 文
岡川 清潜 浜田 崇
梅田 常人 倉田 登
増田 哲也 尾

新春恒例の長島町消防出初式が1月9日、雨天のため長島町総合町民体育館で開催され、町民の生命と財産を守る消防団員や町分遣所職員など約400人が参加しました。

式は、体育館内での観閲行進に始まり、消防団員らが、小隊訓練など日ごろの訓練の成果を披露し、消防功労者や防火・防災ポスター、作文の入賞者に表彰状が贈られました。

防火・防災作文で最優秀賞を授賞した鷹巣中学校3年、池上美紀さんの「大切な地域の消防団」が、鹿兒島県代表として全国中学生防火作文コンクールで入賞し、この日会場で披露されました。

あおい幼稚園幼年消防クラブマーチングは、寒い体育館内でしたが、かわいいながらにも立派なマーチングを披露してくれました。例年実施される分遣所による救助訓練や、式典後に計画されていた恒例の放水競技、一斉放水はいにくの雨で中止となりました。

消防表彰者は、上記のとおりです。

大切な地域の消防団

長島町立鷹巣中学校 三年 池上 美紀

「集まれ」大きな声が広場から聞こえてきます。今年も消防団員のみならずが操法大会に向けての練習をしています。以前私の父も消防団でした。

父の職業は漁業です。この時期、六月は八工縄漁で鰹を獲っています。本来ならば夕方に漁に出ますが、この時期は操法大会に向けた練習が夕方五時半から始まるため、時間をずらして夜中の一時半に起きて漁に出ています。消防団の練習が夕方五時半から始まり、夜九時過ぎに帰ってきます。十時過ぎに寝て、一時半には起きて漁に出ます。睡眠時間は約三時間という厳しい生活が操法大会までの一ヶ月続きました。さらに、仕事の合間にも一人でホースを投げる練習をしていました。睡眠不足で疲れているのに、私は何でそんなに自分の漁業の仕事や体を犠牲にしてまで、一生懸命に頑張るのか理解できず、父に聞いてみました。すると父は「どうせやるなら操法大会で上位を目指したいし、いざ災害や火災が起きたときには体で覚えていないと動けない。」と言いました。

普段はあまり分らないけれど、父は色んな事を考えて頑張っているんだなと思いました。他の団員の方々も仕事があるのに練習をとんでも真剣にしている、私には出来ないなと思いました。それまで私は、父のすごく疲れた姿を毎日見ていたので、ちゃんと訓練をしている消防士の方がいるのだから消防団は必要ないんじゃないのかなとか、災害が起きたとしても、素人だと足手まといになるんじゃないのかなと思っていました。でも今は、こんなにがんばっているからこそ、地域で災害や火災が起きたときに、消防士の方よりもはやく現場に着いて、すぐに対処してくれるのだと分かりました。

消防団の練習をしている時の父は、何事にも真剣に動き、いつもの父よりかっこよく見えました。

今年も消防団の方々が毎日頑張って練習をしている姿を見かけていたので、操法大会でいい結果が出せることを期待していました。しかし、今年も赤潮の被害が酷く、操法大会は中止になったと聞いてとても残念でした。でも、操法大会に向けて練習したことは万が一、災害や火災が起きた時に必ず役に立つはず。来年も操法大会に向けて一生懸命練習を頑張って、練習の成果を十分に発揮してほしいです。

これからも、消防団の方々には練習を頑張って災害や火災に備え、地域の人々を守り続けてほしいです。